

e-ビーフNEWS 北の牧場から

April 2017

十勝の芽吹き

朝の最低気温がやっと氷点下を越えてきました。今週の日中気温が13℃予想。ここまで来ると上着が脱げますね。たくさん積もった雪山もあと家陰のみとなりました。でも油断すると今朝のように白い衣に覆われます。木々の芽も少しずつふくらみ、地表の色も青味が増してきました。殺風景だったおうど色の雪解けに、ふきのとうがニョキニョキと顔を出し始めています。内地ではもう桜の開花や満開のnewsが流れていますが北海道は5月に入ってから。まだまだですね。

鳥たちが戻ってきました。さえずりで朝からやかましい。鳥たちが飛び交うとやっと冬を乗り越えてきたんだなと思います。さあ今年は天候の不順がないことを祈り、鎌に手をかけます。



活動のお知らせ

- 3月30日(木) 神戸大学 日本産肉研究会(会長/松崎弘前大教授) 第19回学術集会「放牧牛とその活用の再発見」
4月12日(水) 札幌 北海道酪農畜産協会 北海道短角牛振興協議会総会
4月14日(金) 札幌 北海道酪農畜産協会 北海道アンガス牛振興協議会総会
4月20日(木) グランテラス帯広 北海道オーガニックビーフ振興協議会設立総会&記念シンポジウム

NEWSばか読み

- 消費者の節約志向一段と進む健康・時短の機能性食品は伸びる
3/1:メリハリ消費へ
- 大手商社・食品卸 中小メーカーの輸出支援を拡大
3/1:流通ノウハウを生かせ
- ヤマト運輸 バトナムで企業向け保冷輸送を開始 3/1:牛肉の輸出伸長
- 和牛子牛市場相場軟調 市場6割が前月下回る 3/2:高値圏は変わらず
- イトーヨーカ堂 店舗閉鎖進む コト消費を踏まえた新業態へ
3/2:業態変化は進む
- 東京立川市ノロウイルス キザミのりが原因 3/2:原因特定の範囲が広がる
- 農林水産省ジェトロ 輸出食品の見本市を今秋幕張で開催 3/2:輸出に注力
- JA全農 回転すしチェーンのスシローに出資 3/2:JAの流通のM&A本格化
- 乳牛メーカー団体が輸入雌牛導入に基金創設
3/3:相場や周りの動向が読めているのかな
- 全国北から南の3JAがリレー方式でアルバイト周年雇用
3/3:ミツパチ方式
- 宮城全国和牛共進会の審査基準に繁殖能力焦点
3/7:サシ偏重から転換なるか
- JR東日本JEFエンジ駅店舗の食品リサイクル原料でバイオ発電
3/8:鉄屋も考える
- 長野県畜産試験場 酒粕30%給与で飼料代1割減サシ2倍 3/8:飲みすぎ注意
- 宮崎県 特産農産物の機能性表示開発推進 3/9:農産物の機能性探掘
- WTO対日報告 日本農業の手厚い保護に懸念 3/9:世界の見方
- 16年度家計調査 生鮮食品0.8%伸び牛肉3.6%外食12.7%増加
3/10:期待できるかな
- 日本政策金融公庫調査 儲かる農業の秘訣は女性参画 3/10:男女共同作業
- 農林水産省 優良外食大臣賞に焼肉「牛心」和牛ドライエージング提供
3/13:
- 全酪・熊本畜連 西日本で初の乳牛哺育育成センター開設
3/13:西では無かった?
- 横浜検疫 中国渡航者の持ち込もうとした生肉から鶏インフル 3/14:警戒
- 米国産牛バラ肉2割高騰 米国内BBQや中国需要増 3/16:変動要因大
- 16年度東京食肉市場取扱量 昨対4.7%減8万頭割れ和牛9%減
3/21:減少顕著
- ブラジル 衛生基準外食肉の不正流通で波乱
3/21:日本の外食・中食影響懸念
- 中国国営テレビの放射能汚染の日本食品流通報道で食品撤去
3/22:意図分ならず
- コンビニ世界業界団体NACAが道内のセコマ視察 3/23:注目度高い
- 国連 世界人口の2/3が水不足に直面 3/23:これは大きなこと
- 総務省 ふるさと納税の返戻品の上限を3割に設定
3/24:地域経済には貢献大
- JA全農 羽田空港でシンガポール路線向けにお土産用和牛販売開始
3/24:
- 牛マルキンの17年度積立金を大幅引き下げ 3/27:昨年の発動減
- コープネット連合 飼料米増やした米育ち豚・牛・鳥肉販売強化3/28:
- JA全農 農業IT企業ファームノートに出資 3/28:民間独自性が懸念
- 総務省 田園回帰 若者に移住の流れ 仕事課題 3/29:チャンス
- 日本養豚協会 チェックオフ制度「とんとん助成金」導入提案
3/30:おもしろい
- 世界 PM2.5起因で345万人死亡 3/30:最近咳が
- 3月和牛素牛相場 3ヶ月連続で下落2.0%▼ 3/30:まだまだ
- 米国産牛肉が豪州産を上回る2月輸入統計3/31:トランプ効果

東京直近NEWS (3/31 Shi-REPORT)

ホルズ 3月相場上げ傾向で推移。産地は飼養頭数の減少から集荷取扱頭数の減少傾向の模様。販売は国産牛としての切落し需要が堅調で引き続き引合いは強い状況。時期的にも、給食関係は春休みで4月前半は鈍いが後半は5月GWの前倒し納品などで慌ただしさを予測。パーツの引合いとしては、上位部位が鈍くなり価格もチルドは下げ相場になりつつあるが、産地工場は需要期の冷凍製造に切替え、パーツ価格の下げを回避し、目立った余剰パーツがない。生産者は、素牛相場が冷めず高値が続いているが、枝相場は3ヶ月前半に落ち着いており生産原価割れの状況から、素牛導入資金の枯渇可能性出てきている。

経産牛 市場相場は上げに転じている。特にC1等級は急騰に近い状況で頭数も少ない。販売面は牛正肉の動きも価格次第で、決して好調な状況では無く産地メーカーも在庫はそれなりに抱えている模様にも関わらず、枝肉相場は上昇。販売面は赤身やロイン関係は引合い強く堅調な動きも、逆にバラとカタ系は鈍い状況で、輸入物に押されている模様。挽材の在庫は潤沢にも関わらず、今回の年度末では投げ価格での挽材流通の情報はでていない。先の見通しとして、頭数の縮小を警戒しての在庫確保の意図か。

左先生の畜産学研究NEWS

3月27日に2017年度予算が成立しました。翌日の新聞報道では、鈍る税収で財政の健全化シナリオを崩してまで通した97兆円という過去最大規模の大きさとは裏腹に小さく、森友学園問題で影が薄くなった感じです。社会保障費と防衛費増加の幅など国民の納得する議論はなく、衆・参両院の与党が同じという問題点を痛感させられました。今後の政局で重要法案が成立するかどうか報道の関心ですが、その中に6月に成立予定の農業競争力強化支援法を含む農業改革8法案は含まれません。早くも農業関係者からその実効性が疑問視されています。e-びーふNews40号の学術情報は「畜産関係新技術発表会」から「肉用牛研究会報」#102の残り4題です。

1. 畜産関係新技術発表会2017.2.24(札幌北農ビル)

代謝プロファイルテストを利用した黒毛和種繁殖牛群の飼養管理(渡邊貴之:家改せ鳥取)

乳牛の代謝プロファイルテスト(MPT)は血液成分値の変化から代謝異常が起きる前に栄養状態を診断するもので、これを黒毛和種雌牛の繁殖成績向上のために栄養状態の客観的診断に適用し、飼養管理と繁殖性の課題を検討しました。肉牛は乳牛と違い乳量・乳質低下や疾病の症状が顕れ難く、仔牛の下痢発生等までエネルギー不足が判りません。特に繁殖和牛の妊娠末期や泌乳期にはエネルギー不足に伴うケトosisなどが起きやすくMTPやボディコンディションスコア(BCS)を活用して肝機能低下や過肥を防ぐことが大切です。

2. 肉用牛研究会報 #102:31-36, 稲WCSおよび大麦WCSの肥育全期間給与が黒毛和種去勢牛の肥育成績に及ぼす影響 (山田知哉他、農・食産技総研 畜研部門)

7頭の黒毛和種去勢牛を12-30ヶ月齢まで肥育し、全肥育期の粗飼料として肥育前(12-18)・後期(25-30ヶ月齢)にVtE含量が高いとされる稲WCS,中期(19-24ヶ月齢)に大麦WCSを自由採食させ枝肉成績とVtEの牛肉内蓄積効果を検討しました。稲WCS,大麦WCS給与は対照の乾

草給与と増体や枝肉成績に有意差はなく、牛肉中のVtE含量が増加し、肉の保存性が向上する可能性が認められました。

3. 2017.2 肉用牛研究会報 #102:37-41, 黒毛和種における第6-7肋骨間横断面, サーロインおよびウチモモ間の脂肪交雑の関連性 (伊藤愛華他、帯畜大)

牛枝肉評価では第6-7肋骨間の脂肪交雑が重要ですが購買者は脂肪交雑がサーロインそしてモモまで抜けること(モモ抜け)を重視します。40頭の黒毛和種去勢牛についてウチモモの等間隔スライスを画像解析し、6-7横断面との関連性を検討しました。その結果、相関係数ではウチモモ頭部6-10cmの脂肪面積割合がウチモモ全体のそれを反映しますがモモ抜け程度は個体差が大きく、むしろ僧帽筋の脂肪交雑からモモ抜けの程度を予測することが可能と思われました。

4. 2017.2 肉用牛研究会報 #102: 42-48 稲発酵粗飼料の全期間給与が交雑種去勢牛の産肉性に及ぼす影響 (中西直人他、農・食産技総研 畜研部門)

F1肥育牛に粗飼料として稲発酵粗飼料を全肥育期間(10-26ヶ月齢)自由採食させて枝肉成績、内臓重などを調べました。稲WCSは半腱様筋のVtE含量を高めましたが、枝肉成績に有意な反応はみられず稲わらと同様な効果のようです。

5. 2017.2 肉用牛研究会報 #102:49-57, 精白米DDGS給与が黒毛和種去勢肥育牛の増体および肉質に及ぼす影響 (樋口幹人他、農・食産技総研 畜研部門)

精白米のバイオエタノール乾燥副産物であるDDGSを黒毛和種牛に肥育用配合飼料の15%まで代替給与すると、増体や枝肉成績の向上よりも高CP由来と思われる肝機能負荷が起こり、肉色BCS値も高くなりました。

道総研 畜産試験場NEWS

「和牛繁殖牛・子牛の飼養管理 市場評価の高い子牛を育てるために」 全6回シリーズ 道総研 畜産試験場 肉牛グループ 佐藤 幸信

初産牛と増飼ー初産牛で増飼すると難産になる？

子牛生時体重が母牛の体重の8%以上になると難産が増える

| | | | |
|-------------------|-------|-------|-------|
| 母牛の体重 | 500kg | 450kg | 400kg |
| 母牛体重の8% 子牛生時体重 | 40kg | 36kg | 32kg |

初産牛は分娩時最低450kgの体重とする

| 月齢 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
|---------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 月別体重 | 341 | 354 | 367 | 380 | 393 | 406 | 419 | 432 | 450 | 468 | 489 |
| 飼料採食率 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 1.5 | 1.5 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | 2.0 |
| 産肉率(kg) | 7.5 | 7.5 | 7.5 | 8.0 | 8.0 | 8.0 | 8.0 | 9.0 | 9.0 | 9.0 | 9.0 |
| DM | 108.0 | 108.0 | 108.0 | 108.0 | 108.0 | 108.0 | 108.0 | 108.0 | 108.0 | 108.0 | 108.0 |
| CP | 108.0 | 108.0 | 108.0 | 108.0 | 108.0 | 108.0 | 108.0 | 108.0 | 108.0 | 108.0 | 108.0 |
| TDN | 108.0 | 108.0 | 108.0 | 108.0 | 108.0 | 108.0 | 108.0 | 108.0 | 108.0 | 108.0 | 108.0 |

授乳期の増飼ー自然哺乳の場合

授乳群(増飼群ー増飼なしの場合)

体重 500kg
チモシー1番割定額(ヤヤウJ選れ) 8kg/日 給与
DM 85.2 CP 6.8 TDN 46.8 Ca 0.21 Mg 0.08(原物値換算)

授乳期

kg

分娩時 4週 8週 12週

母牛の体重変化

異常高乳脂肪による下痢

| | 乳蛋白 | 乳脂肪 | 乳糖 | SNF | 雑脂肪 |
|------|-----|------|-----|-----|-----|
| 白痢群 | 3.6 | 11.5 | 4.1 | 8.3 | 148 |
| 非白痢群 | 3.0 | 4.7 | 4.0 | 8.2 | 105 |

授乳期に増飼をしない母牛の子牛に見られた白痢

kg

4週 8週 12週

乳量の推移

乳タンパク質の推移